

# つながる地域サポート部のご案内

## 愛称：わっぱ（輪っぱ）

### 【目的】

従来より急性期病院などからの受け皿として在宅復帰や療養、看取りなどの役割を担って参りましたが、当部門はそれに加え、当院にある社会資源をさらに地域や在宅のために直接役立てていただくことを目的に創設されました。そのために地域のニーズをしっかりと捉え、少しでも長く地域で暮らせるため、予防事業から外来・訪問系サービス、入院から退院支援そして退院後支援までの一連の流れを強力にサポートする役割を有しています。このような地域を軸足に置いた活動は当院だけでできるものではなく、他の診療所や介護施設、行政機関、居宅や地域住民などの様々な方たちと連携を取りながら進めていかなければなりません。そこでスローガンを「つ・な・げ・る」として、愛称にわっぱ（輪っぱ）を付けました。みんなで手を取り合ってネットワークを作り、支え合える地域づくりを目指します。

### 【組織構成】

この部門の特徴は組織横断的な多職種による構成員から成り立っている事です。事務、ケアマネジャー、社会福祉士、管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、看護師、医師が所属し、フラットな関係性の中で多様性を互いに尊重しながら、総合力によるチームでの実践を基本としています。先が読めない時代だからこそ、このような組織を作り、変化する地域ニーズに迅速に responding していきたいと考えています。また、地域の窓口となる医療福祉相談課と居宅介護支援事業所もこの部門に所属しています。

### 【事業内容】

主に以下の3事業に分類されます（計画段階のものも含む）

1. 広報・マーケティング事業
  - 1) 介護予防事業や地域への啓蒙啓発活動
  - 2) 地域ニーズのマーケティング
  - 3) 広報の充実、広報先の展開
  - 4) 診療所・施設・行政機関との連携による地域包括ケアシステムの推進
2. 地域医療/前方連携事業
  - 1) 前方連携における多職種によるアウトリーチによるスクリーニング（地域の壁を低くする）
  - 2) 入院前情報の収集による外来・病棟受入態勢のスムーズ化（病院の壁も低くする）
  - 3) 相談窓口の一本化と振り分け機能
3. 地域医療/後方連携事業
  - 1) 訪問系サービスの充実
  - 2) 退院後フォロー体制の構築
  - 3) 紹介元へのフィードバックと更なる連携